

海老名市立今泉小学校 学校運営協議会 議事録
(令和7年度 第1回)

- 1 日時 令和7年5月1日(月) 13:25～14:50
- 2 場所 海老名市立今泉小学校 CSルーム
- 3 出席委員 木島智恵美委員、守屋佐千子委員、中野隆則委員、和泉雅幸委員、
築地澄委員、
和田修二委員(校長)、中島忠相委員(教頭)、金指太一郎委員(校長補佐)

4 会議の内容 (進行: 金指校長補佐)

(1) 学校長挨拶(和田校長)

本年度は249名の1年生が入学した。本校は児童数が多く、今後も増加する見込みである。児童数が多い分、子どもたちの沢山の笑顔が見られるので楽しみにしている。

今年度も皆さんからのご意見をいただきながら学校運営を進めていくので、よろしくお願いしたい。

(2) 委嘱状交付

岩崎恵委員の後任として、新たにPTA会長に就任した築地澄委員に対し委嘱状が交付された。

(3) 委員自己紹介

(4) 委員長、副委員長の選出

委員長に、木島智恵美委員を選出。

副委員長に、守屋佐千子委員を選出。

(5) 学校運営協議会について

和田校長: 文科省作成資料「コミュニティ・スクールとは」をもとに説明

(6) 学校の様子

和田校長: 「令和7年度 海老名市立今泉小学校」、「令和7年度 校内配置図」、「すだじい【415号】」、「令和7年度 学校教育活動について」をもとに説明

木島委員: 教員の顔がわからない。顔写真入りで広報等を出す予定はないか。

和田校長: 名札及びストラップを付けている者が教職員である。

築地委員: 保護者ボランティアによる広報紙の中で教職員の写真を載せる予定

木島委員：あそびっ子には、紙ベースで欲しい。

金指校長補佐：出来上がり次第、紙でお渡しする。

(7)【協議事項①】学校運営の基本方針について（進行：木島委員長）

和田校長：「令和7年度 海老名市立今泉小学校グランドデザイン」、「インクルーシブな学校づくりへのファーストステップ」をもとに説明

和泉委員：令和6年度のグランドデザインとの変更点は何か？

和田校長：教職員が検討のうえ、「めざす児童像」の文言を修正した。

和田校長：保護者目線（築地委員）からインクルーシブの取り組みについて意見はあるか？

築地委員：子どもごとに周波数が違う。自分たちの頃は人と違うことをすると怒られた。今は、その行動をとる背景を見て対応していただいていると感じる。

木島委員：分かり合えると子どもたちは心を開く。しかし、学校によって対応（インクルーシブに取り組む進度）が異なる。異動されてきた教員が戸惑うことはないのか？

中島教頭：学校によって異なる点もあり、戸惑うことはあると思う。

木島委員：本校は、インクルーシブの取り組みなどが進んでいるので、教職員も大変だろうと思う。

和田校長：支援教室の設置など、どの学校もインクルーシブを行う仕組みが整備されている。しかし、一番大切なのは、「教職員の『意識』」で、ここが一番難しいと感じている。

築地委員：様々な役割を担うことが成長に繋がるのではないか。

和泉委員：公務員も様々な人がいるが、信念を持ってやって行けば、それ（インクルーシブ）に染まっていくと思う。本校は良い例だと思う。

委員長：「令和7年度 学校運営の基本方針について」承認でよろしいか。

各委員：（全員拍手）～ **承認** ～

(8)【協議事項②】学校運営協議会実施計画について（進行：木島委員長）

和田校長：「海老名市立今泉小学校 令和7年度学校運営協議会実施計画（案）」に基づき説明

地域や保護者とともに「インクルーシブな今泉小学校」を目指し、多様性を認め合いながら、子どもたち一人ひとりの個性を大切にする学校を創っていくために、みなさんのご意見を伺いながら協議していきたい。

和泉委員：グランドデザインと実施計画は、リンクしているのか？

和田校長：基本的にはリンクしている。しかし、フルインクルーシブについては、

地域に十分広がっていないと思う。

木島委員：民生委員・児童委員の中でもフルインクルーシブの理解が薄いことから、教育長に講演を依頼した。しかし、どの程度理解が進んだかは不明である。

インクルーシブという言葉は初めて耳にする方が多い。私たちもまだ曖昧な点も多い。インクルーシブは、海老名市全体で取り組むべきものであり、今泉小学校ももっと周知する必要があるのではないかと。

和泉委員：なかなか真意は伝わらないもの。教育長にとっては当たり前のことでも、一般の人にはわからない。100%理解していただくのは難しい。

実施計画は、令和6年度のからの変更点はあるのか。

和田校長：継続である。しかし、学校の取り組みを発信する機会が少ないとも感じる。

今後は、こういった機会(学校運営協議会)を活用して周知していきたい。

中島委員：8月に本校の取り組みを発表する機会がある。是非、文化会館で開催する「ひびきあう教育研究発表大会」に参加いただきたい。

守屋委員：文章だけではわからない実態(現場)を知ることが大切である。

和泉委員：理解を進めてもらうためには、現場を知ってもらうのが一番早い。

和田校長：今年度の学校運営協議会では、出来るだけ現場を見ていただく機会を設けたい。

委員長：「海老名市立今泉小学校 令和7年度学校運営協議会実施計画(案)について」承認でよろしいか。

各委員：(全員拍手) ～ 承認 ～

(9) 情報提供等

①「けやきの教室(通級教室)」を見学。担当の永留教諭が説明

②別紙「Let's begin」(教職員向け校長メッセージ)を和田校長が説明

③別紙「学区の変更及び説明会の実施について(お知らせ)」を中島教頭が説明

守屋委員：駅間の学区を変更するということは、海老名小学校の児童数は減少しているのか

木島委員：リーフィア(駅間のマンション)から今泉小学校に通学する児童はそれほど多くはないのではないかと。

和田校長：今泉小学校に増築棟が建設される旨の記事(神奈川新聞)が掲載されているが、今後も今泉小学校区の児童数が増加する見込みのためにとられる措置である。

④別紙「令和7年度海老名市コミュニティ・スクール研修会兼中学校区学校運営協議会」を中島教頭が説明(後日、出欠席を確認させていただく)

⑤別紙「学校の働き方改革にご協力をお願いします」を和田校長が説明

⑥増築校舎の概要について、金指校長補佐が説明

⑦LINEの登録について、中島教頭が説明

⑧その他

守屋委員：モジュール授業は、成果が上がるから実施するのか

中島教頭：モジュール授業を実施するの大きな理由は、授業時間の確保であり、必要な教育課程を実施することが出来ている。

(10) 閉会

守屋副委員長、閉会のことば